

# 琉球王朝を築いた 歴代の王たち

浦添出身の有力な支配者は、  
後の琉球王朝を変えた

舜天王は浦添を中心に多くの按司を従える按司主と伝えられています。英祖王は、田畑の境界を定めて農業の生産性を高め、久米島や慶良間、伊平屋諸島も支配下に置いたと言われます。その後、察度が王になり、明との初の進貢貿易を行い、明の歴史書に初めてその名が記録された王となりました。浦添は、農耕に適した広い平野と牧港という天然の良港を背景に、有力な支配者を輩出し、沖縄の中心として栄えました。

King Shunten was said to be a ruler with many ruling divisions centering around Urasoe. King Eiso, designated boundaries of the farm fields and increased the productivity of farming, also held the islands of Kumejima, Kerama and Iheya islands under his rule. King Satto who ruled later, became the first to open trade with Ming China, making him the first king to appear in Chinese historic records. With its vast fields and naturally advantageous port, Urasoe was able to develop strong rulers who changed the course of history for the Ryukyus.

据说，舜天王是以浦添为中心率领众多按司的按司主。英祖王制定了田地的境界，提高了农业的生产率，也统治了久米岛和庆良间，伊平屋群岛。此后，察度王，进行了向明朝的首次进贡贸易，成为了在明朝的历史书上第一次被记录名字的王。浦添，有着适合耕作的宽广平原和天然良港的牧港，有力的统治者辈出，作为冲绳中心而昌盛。

伝説に  
つまれた王

しゅんてん  
**舜天**

父親は源為朝、母親は大里按司の妹といわれ、若くして浦添按司となり、1187年に国王・天孫氏から王位を奪った利勇を倒し、人々に推されて王になりました。



太陽の子と  
いわれた王

えいそ  
**英祖**

1260年に義本から王位を譲られたといわれます。父親は伊祖城にいた伊祖按司で、恵祖世主と呼ばれていました。



貿易立国の  
基礎を築いた王

さっと  
**察度**

察度は1372年に明の皇帝の招きに応じて使者を送り、初めて中国と正式に国交を結びました。また留学生も派遣しています。



首里城と浦添城を  
つないだ王

しょうねい  
**尚寧**

1609年に薩摩の島津氏が攻めてきて、琉球は敗れました。尚寧は捕虜として薩摩や江戸に連行され、二年後に琉球へ帰ってきます。



都会の真ん中で、歴史ロマンを感じてみませんか？

浦添まちまーい

琉球王統発祥の地とされる浦添の集落を散策するコース。車の往来が多く、賑やかな県道38号線をほんの少し入るだけで、豊かな自然と歴史ロマンに出会えます。沖縄の古都といえば首里が有名ですが、それ以前は浦添にあったといわれています。そして、浦添を治め、繁栄させたのが英祖という王様です。母がふところに太陽が入る夢を見た後に生まれてきたことから『太陽の子(てだこ)』と呼ばれたという伝説があります。



## 浦添歴史マップ



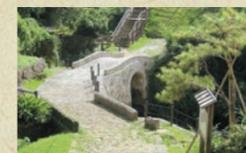
玉城朝薫の墓

組踊の創始者、玉城朝薫の墓は17世紀後半から18世紀前半に造られたと考えられています。内部は天井を石柱で支えるという珍しい構造になっています。



普天満参詣道

琉球王国時代の主要街道の一つです。国王が普天満宮参拝の際にこの道を通りました。当時の石畳道が200mにわたって残っています。



中頭方西海道

安波茶橋は小湾川の上流に架けられた二つの石橋です。1597年、首里から浦添グスクまでの道を整備する際に石橋へ作り替えられたと考えられています。



伊祖城跡

英祖王の出生地といわれる伊祖グスクは、浦添グスクの北西約1.5kmの地に築かれた比較的小規模な城です。石垣には切石積みと野面積みの二種類が見られます。